



大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち

みなみ風



発行/新潟市南区役所
編集/南区役所地域総務課
〒950-1292 南区白根1235番地
電話 025(373)1000(代表)
FAX 025(373)2385

南区ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/minami/> Eメール chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp (南区役所地域総務課)

南区の人口(令和2年8月末現在、カッコ内は前月比): 44,281人(-31) 男: 21,513人(-6) 女: 22,768人(-25) 世帯数 16,315世帯(+23) (住民基本台帳による)

重要文化財 笹川邸に行こう!

笹川邸(旧笹川家住宅)は萬代橋をはじめ、市内にある5つの国指定重要文化財(建造物)のうちの一つです。400年もの長い歴史があり、訪れる人は自然と厳かな気持ちになります。多くの部屋や調度品には一つ一つに逸話があり、これを知ることによりさらに歴史の重みを味わうことができます。

笹川邸の歴史

- ・天正年間(1573~1591)に笹川家がこの地に移り住んだ。武田氏の一族といわれている。
- ・1819(文政2)年の火災で、表門や蔵以外は全焼。7年後に現在の建物が再建される。
- ・1970(昭和45)年に笹川家の最期の当主がこの地を離れる。

笹川家のここがすごい!

- ・江戸時代には味方組8カ村の合計8,000石を束ねた大庄屋。
- ・藩から警察・裁判権を与えられていた。
- ・水害が多かったため、新田開発に貢献した。

笹川邸の見どころ

表門

母屋から離れているため1819年の火災を免れ、天正年間に建てられたままの姿をとどめている。「異風門」ともいわれ、ゆえんは異の方角(南東)を向いていることによる。



七畳の間

8畳のうち1畳が床の間になっている。当主の客間として使われていた。7畳は切腹の間取りで、いざというときのために用意されたといわれている(ここで切腹した人がいたという記録はありません)。



上便所

藩主など客専用のトイレ。便器の下にもみ殻を敷き詰めた箱を用意しておき、1回使うごとに取り換えていた。



上段の間

藩主が来たときに過ごした部屋。床の間の前には長い畳が使われている。これは、藩主が真ん中に座っても、畳の縁を踏まないようにという配慮。



釘隠し

笹川邸では部屋によって意匠を凝らした6種類の釘隠しが使われている。



にわづる 二羽鶴



すえひろ 末広



みどもえ 三つ巴



みおび 三つ扇



みびょうたん 三つ瓢箪



はなひし ※花菱

※「花菱」は現在非公開の部屋にあるため、ご覧になれません

武田菱

武田氏の紋。笹川家が武田一族であった証し。いろいろな場所に使われている。



奥土蔵

3枚の扉があるため火災による被害を免れた。樫の非常に太い柱(30cm角)や大きな屋根を支える松の中心部を使用した50cm角・10mの桁は貴重。屋根の内側には、当時の大工の足跡が浮き出ているのが見られる。



御用帳場

事務室として使われていた。ここにある帳簿箱は大事な書類をしまうのに使われていた。車輪が付いていて、火災の際にすぐに運び出せるような工夫がされている。



大広間

28畳もある一番大きい部屋。味方組・8カ村の庄屋が集まり会議を行うときなどに使用した。三の間とを仕切る板戸には5尺2寸(約157cm)もある杉の一枚板が使われている。



4つの玄関

- ①大玄関 三の間へ続く玄関。村上藩から藩主が来たときに使用した。
- ②広間に続く玄関 沓脱石と手水鉢があり、広い玄関で催しがあった際などに利用された。
- ③寄付に続く玄関 役所としての笹川邸を利用する一般の人や庄屋が利用した。灌場という足を洗う場所が設けられている。
- ④土間に続く玄関 笹川邸の家人や使用人、行商人が使用した。



代表 吉田 悦郎さん

旧笹川家住宅ボランティアガイドの会

旧笹川家住宅は江戸時代の建物です。これが現存しているだけでもすごいです。歴史ある建物や庭園の景観は素晴らしく、映画のロケにも何度も使われました。最近では最後の替女・小林ハルさんの人生を描いた映画「替女GOZE」の舞台にもなり、見た人を魅了しました。

近年は地域の小・中学生がガイドをできるような取り組みを進めており、笹川邸が地域の子どもの誇りとなることを願っています。

ガイドと一緒に見学をすることで、また違った魅力を発見することができます。ガイドは無料です。お越しの際は、ぜひご利用ください。

※ガイドを希望する場合は、1週間前までに旧笹川家住宅へ問い合わせてください



旧笹川家住宅 無料入館券

有効期間 令和2年 9月20日(日)~ 10月4日(日)

※本券1枚で4人まで無料で入館できます 期間中の9月23日(水)、9月28日(月)は休館

【入館料】大人500円 小・中学生300円 (隣接する曾我・平澤記念館と共通。土日・祝日は小・中学生無料)

【開館時間】午前9時~午後5時(最終入館は午後4時10分)

【休館日】月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日

問い合わせ 旧笹川家住宅 ☎372-3006